- 1 Internet Explorerを開きます。 2 「ツール」→「インターネットオプション」を選択します。 3 「詳細設定」タブを選択します。

インターネット オプション 🔋 🗵
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
ホーム ページ 複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(R)
http://tokyo.nekonet.co.jp/menu/
現在のページを使用(C) 標準設定(F) 新しいタブの使用(U) スタートアップ
 ● 前回のセッションのタブから開始する(B) ● ホーム ページから開始する(H) タブ
タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(T)
閲覧の履歴 一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情報 を削除します。
✓ 終了時に閲覧の履歴を削除する(W)
「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 』 」 』 」 』 」 』
色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E)
OK キャンセル 適用(A)

4「セキュリティ」セクションにスクロールします。

インターネット オプション	8 🐹			
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定				
設定	_			
📃 イントラネットの URL (こ IDN サーバー名を送信する	*			
✓ イントラネット以外の URL (こIDN サーバー名を送信する)	_			
□ 1ントフネット以外の URL の UTF=8 クエリ文子列を达信する ◎ エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する	=			
- エンコードされたアドレスを常に表示する				
() セキュリティ				
■ DOM ストレージを有効にする ■ National Functional アフクセス」たせくして Da Nationals 再式た送信す				
✓ Internet Explorer ビアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を达信す Ø POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に考				
■ Foot Screen フィルター機能を有効にする				
SSL 2.0 を使用する				
■ SSL 3.0 を使用する ・ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	•			
*コンピューターの再起動1後に有効になります				
詳細設定を復元(R)				
Internet Explorer の設定をリセット	_			
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)				
ノブノリールド安定は1人態にようご場合に切め、この設定を使うしいださい。				
OK キャンセル 適	囲(A)			

5「TLS1.2の使用」チェックボックスにチェックマークを付けます。

インターネット オプション 8 2	×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定	
設定	
 日 セキュリティ ✓ DOM ストレージを有効にする 	
✓ Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を送信す	
✓ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に警覧	
✓ SmartScreen フィルター機能を有効にする	
SSL 2.0 を使用する	
SSL 3JJ を使用する	
● 120 12 の反用 ● コンライン おんの攻撃の緩和に役立てるため、メモリ保護を有効にする*	
▼ サーバーの証明書失効を確認する*	
< III +	
*コンピューターの再起動後に有効になります	
詳細設定を復元(R)	
Internet Explorer の設定をリセット	
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)…	
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。	
OK キャンセル 適用(A)	

6「OK」をクリックします。 ー旦、すべてのInternet Explorerを閉じ、開き直して利用してください。 有効化手順は以上になります。

	8			メニュー
		☆	s	
新しいタブ(T)		C	trl+T	
新しいウィンドウ (N)		C	trl+N	
シークレット ウィンドウを	ぞ開く(I)	Ctrl+Sh	ift+N	
履歷(H)			•	
ダウンロード(D)		(Ctrl+J	
ブックマーク (B)			•	
ズーム	- 100%	6 +	50	
印刷(P)…		C	trl+P	
キャスト(C)…				
検索(F)…		C	trl+F	
その他のツール(L)			•	
編集 切り取り(T)	⊐ピ–(C)	貼り	付け (P)	
設定(S)				
NE (E) 🖌				

4 表示された設定画面の最下部にある「詳細設定」をクリックします。

既定のブ	ラウザ				
既定o Googl	デフォルトに設定				
起動時					
۲	新しいタブページを開く				
0	前回開いていたページを開く				
0	特定のページまたはページセットを開く				
詳細設定					

5 表示されたメニューから「プロキシ設定を開く」をクリックします。 ユーザー補助機能 ユーザー補助機能を追加 Z Chrome ウェブストアを開く システム Google Chrome を閉じた際にバックグラウンド アプリの処理を続行する ハードウェア アクセラレーションが使用可能な場合は使用する プロキシ設定を開く ß リセット リセット 設定を元の既定値に戻します 6 表示されたインターネットオプションの画面で「詳細設定」タブをクリックします。 7表示された設定の一覧の中のセキュリティ内にある「TLS1.2の使用」にチェックをつけます。 8 「適用」ボタンをクリックします。 9「OK」ボタンをクリックします。 インターネット オプション 8 🐹 全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 設定 🔒 セキュリティ . IDOM ストレージを有効にする 📝 Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を送信す 📝 POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に薯 🗐 ✓ SmartScreen フィルター機能を有効にする 📃 SSL 2.0 を使用する 📃 SSL 3.0 を使用する 📃 TLS 1.0 を使用する 718 1.1 の使用 📝 TLS 1.2 の使用 シラインからの攻撃の緩和に役立てるため、メモリ保護を有効にする* 5 ▼ サーバーの証明書失効を確認する* ٠ Þ *コンピューターの再起動後に有効になります 詳細設定を復元(R) Internet Explorer の設定をリセット Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)... ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。 OK キャンセル (適用(A)

10 有効化手順は以上になります。

- 1 Mozilla Firefoxを開きます。 2 Mozilla FirefoxのURL欄に"about:config"と入力し、アクセスします。 3 動作保証対象外となる警告画面が表示されますが、「危険性を承知の上で使用する」に進みます。 👂 新しいタブ × Q about:config $(\rightarrow) \rightarrow C$ 動作保証対象外になります! プログラムの高度な設定を変更すると、安定性、セキュリティ、パフォーマンスに深刻な問題を引き起こす恐れがあ ります。設定変更による影響を完全に理解している場合に限ってご利用ください。 ✓ 次回もこの警告を表示する 危険性を承知の上で使用する 4 詳細設定画面にて設定名「security.tls.version.max」の値を"3"に変更します。 詳細設定画面にて設定名「security.tls.version.min」の値を"3"に変更します。 検索(R): O security.tls.version.m ▲ 状態 型 設定名 値 security.tls.version.max 初期設定値 整数値 security.tls.version.min 変更されています 整数値
- 5 Mozilla Firefoxを再起動し設定を反映します。 6 有効化手順は以上になります。